

大阪市立常盤小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

【視点 学力の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」などの結果から、基礎的・基本的な学習内容が定着したと考えられる児童の割合を、平成24年度の水準より引き上げる。 (カリキュラム改革関連)
- 本校における保護者・児童のアンケート調査の結果から、高い学習意欲・学習理解を示す児童の割合を、平成24年度の水準より引き上げる。 (カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 学校児童アンケート調査の結果から、自己肯定感や規範意識の育成に関する肯定的回答の割合を、平成24年度の水準より引き上げる。 (カリキュラム改革関連)
- 年度末調査で、不登校の児童の割合を前年度比で毎年減少させる。 (カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 全国体力・運動能力、運動習慣調査で、各学年の合計得点を、平成24年度の水準より引き上げる。 (カリキュラム改革関連)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- 平成25年度の全国学力・学習状況調査の結果から、国語・算数を観点別に分析し、課題となる項目について、正答率の向上を目指す。 (カリキュラム改革関連)
- 本年度の学習理解到達診断において、全学年の観点別分析を実施し、課題となる項目について、正答率の向上を目指す。 (カリキュラム改革関連)
- 本年度の学校児童アンケートの「学校の勉強はわかりますか」の項目について、肯定的に回答する割合を全体の90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 本年度の学校保護者アンケートの「子どもは授業がわかりやすいといっている」の項目について、「当てはまる（どちらかと言えば、当てはまる）」という肯定的回答の割合を全体の90%以上にするとともに、「当てはまる」の割合を全体の60%以上にする。(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 本年度の学校児童アンケート調査の結果から、次の各項目について、「当てはまる（どちらかと言えば、当てはまる）」という肯定的回答の割合を全体の90%以上にするとともに、「当てはまる」の割合を全体の60%以上にする。
 - ・自分にはよいところがありますか。
 - ・学校のきまりをまもりましたか。
 - ・友だちのよいところを見つけられましたか。 (カリキュラム改革関連)
- 本年度末の校内調査で、不登校児童の数を前年度より減少させる。 (カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 全国体力・運動能力、運動習慣調査で、各学年の平均得点を大阪の平均よりも1種目以上上回る。 (カリキュラム改革関連)
- 「保健調べ」で、健康な生活習慣を向上させる。 (カリキュラム改革関連)
- 本年度の学校児童アンケートの「配膳された給食を残さず食べることができましたか。」の項目で、児童の肯定的回答の割合を90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)

大阪市立常盤小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年度の全国学力・学習状況調査の結果から、国語・算数を観点別に分析し、課題となる項目について、正答率の向上を目指す。 (カリキュラム改革関連) ○ 本年度の学習理解到達診断において、全学年の観点別分析を実施し、課題となる項目について、正答率の向上を目指す。 (カリキュラム改革関連) ○ 本年度の学校児童アンケートの「学校の勉強はわかりますか」の項目について、肯定的に回答する割合を全体の90%以上にする。 (カリキュラム改革関連) ○ 本年度の学校保護者アンケートの「子どもは授業がわかりやすいと言っている」の項目について、「当てはまる（どちらかと言えば、当てはまる）」という肯定的回答の割合を全体の90%以上にするとともに、「当てはまる」の割合を全体の60%以上にする。 (カリキュラム改革関連) 	

年度目標の達成に向けた取り組み内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【言語力や論理的思考能力の育成】 『言語文化の創造』をテーマに読解・記述・コミュニケーションなど多様な言語活動を年間計画にしたがって実施する。</p>	
<p>指標 言語活動の取り組みについて、実施計画をたて実施 ホップタイムの活用内容の整理</p>	
<p>取組内容②【個に応じた学習指導】 国語科・算数科を中心とした習熟度別指導、少人数指導、ティームティーチング等多様な学習形態を行い、すべての児童に基礎基本を定着させる。</p>	
<p>指標 年間3回以上多様な学習形態を実施</p>	
<p>取組内容③【授業研究を伴う校内研修の充実】 全学年による国語の研究を初め、言語指導の充実や授業力向上及び初任者若年者育成等、授業研究を軸とした校内研修を充実させる。</p>	
<p>指標 研究授業を年間20回以上実施</p>	
<p>取組内容④【英語教材及び言語図書の充実】 学力の向上を図るためのハーフ面の充実に努め、常盤の学習教材として長期的に有効活用できる素材を作成・発掘する。</p>	
<p>指標 全学年の英語指導計画教材の完成、学期に1回の地域図書館の活用</p>	
<p>取組内容⑤【家庭・地域との連携】 開かれた学校づくりに向けて、学校の公開や情報発信を積極的に行うとともに、保護者・地域参加型行事を実施する。</p>	
<p>指標 年間6回の土曜授業の実施、月1回の学校だよりの発行・ホームページの更新</p>	

大阪市立常盤小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>○ 本年度の学校児童アンケート調査の結果から、次の各項目について、「当てはまる（どちらかと言えば、当てはまる）」という肯定的回答の割合を全体の90%以上にするとともに、「当てはまる」の割合を全体の60%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にはよいところがありますか。 ・学校のきまりをまもりましたか。 ・友だちのよいところを見つけられましたか。 (カリキュラム改革関連) <p>○ 本年度末の校内調査で、不登校児童の数を前年度より減少させる。(カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取り組み内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【道徳教育の推進】</p> <p>児童が自分自身や自分の生活と関連させて、考えたり理解を深めたりできる授業を、副読本を活用して実施する。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 年間35時間以上の授業時数の確保</p>	
<p>取組内容②【道徳教育の推進】</p> <p>「あいさつ運動」を実施し、自らすすんで元気にあいさつができるように指導する。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 学期に1回強調週間を実施し、チェックカードで振り返る。</p>	
<p>取組内容③【安全教育及び安全管理】</p> <p>児童の安全を守るため、防犯・防災指導や避難訓練等を実施するとともに、本校分校の完全施錠・受付対応を定着させる。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 学期1回以上の防犯・防災指導及び避難訓練</p>	
<p>取組内容④【安全教育及び安全管理】</p> <p>養護教諭と生活指導担当者との連携を密にし、適切な指導を行う中で、運動場をはじめ、教室・廊下・階段でのけがを減少させる。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 月々の保健室における来室児童のデータを分析し、その都度の対策</p>	
<p>取組内容⑤【人権教育】</p> <p>人権尊重の教育をふまえ、自尊感情を高め、自他の違いを認め合える関係を築けるような児童の育成に努める。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 年間10時間以上の授業を各教科に位置づけて実施</p>	
<p>取組内容⑥【特別支援教育】</p> <p>個別の教育支援・指導や学級集団の育成を両輪に、支援を要する児童の育成に努め、保護者や担当者間の連携を密にする。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 日常的な保護者との連携に努め、学期に1回以上の保護者や担当者との連携会議</p>	
<p>取組内容⑦【家庭・地域との連携】</p> <p>児童の生活習慣の改善について一体となって取り組むため、生活指導便りを発行し保護者・地域から意見を募り交流する。とりわけ、遅刻や不登校については連携の下で重点的に取り組む。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 生活指導便り月1回発行。遅刻や不登校数の減少</p>	

大阪市立常盤小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国体力・運動能力、運動習慣調査で各学年の平均得点を大阪の平均よりも1種目以上上回る。 (カリキュラム改革関連) ○ 「保健調べ」で、健康な生活習慣を向上させる。 (カリキュラム改革関連) ○ 本年度の学校児童アンケートの「配膳された給食を残さず食べることができましたか。」の項目で、児童の肯定的回答の割合を90%以上にする。 (カリキュラム改革関連) 	

年度目標の達成に向けた取り組み内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【体育的活動の充実】 パワーアップタイムを設定し、毎日運動に取り組めるようにし、冬場にはなわとびやかけ足などを取り入れ、体力向上への意識を高める。</p>	
<p>指標 毎日15分間のパワーアップタイムを実施</p>	
<p>取組内容②【食育】 食育の指導計画を充実させ、栄養教諭による指導を初め、他教科においても一貫性のある食育に関する指導を目指す。</p>	
<p>指標 栄養指導を年間、2年=3回、他学年は2回実施</p>	
<p>取組内容③【健康な生活習慣】 養護教諭と他の担当者の連携を密にし、適切な指導を行う中でつめを短く整えたり、石けんで正しく手洗いをしたり、ハンカチ・はな紙の携行を促したりして、ケガや疾病を予防する意識を高める。</p>	
<p>指標 各クラスでの「保健調べ」の分析や啓発を、保健委員会も加わって年間実施</p>	
<p>取組内容④【環境美化】 児童自らがすすんで、校内の美化に取り組む態度を養うため、掲示物の作成等の工夫をしながら「清掃の仕方」の指導に努めたり、全校一斉のクリーンデーを定期的に行ったりする。</p>	
<p>指標 月1回の全校クリーンデー、年間1回のPTAふれあいクリーンデーの実施</p>	
<p>取組内容⑤【教職員・家庭・地域との連携】 保健だより・給食だより・栄養だよりを発行し、健康について地域や保護者とともに考えていく。特に、「熱中症・伝染性の疾病・食物アレルギー」等が、共有すべき今般の課題である。</p>	
<p>指標 月1回の保健・給食・栄養の各たよりの発行</p>	